

参考資料

○ 京都市長賞

しっけいせんぼん
「失敬千万」

加藤 桂 さん (愛知県春日井市)



(応募者コメント)
ふとした言葉で相手が傷付く。相手への思いやりが大事。

○ 京都市教育長賞

こかくじょうほう
「個鶴情報」

中西優多朗 さん (京都府相楽郡精華町)

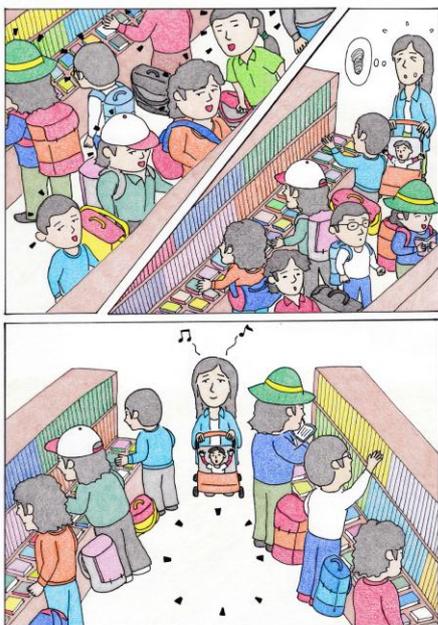


(応募者コメント)
個人情報を守られることの大切さを、昔話で表現しました。

○ 優秀賞

いしんでんしん
「以心伝心」

石井 哲 さん (秋田市)



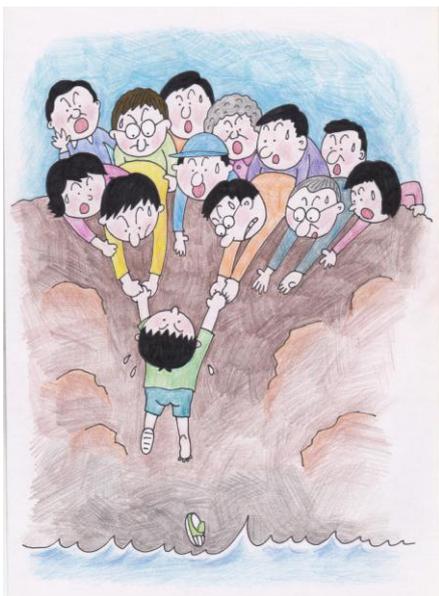
(応募者コメント)

本屋でベビーカーを押した女性が通路を通ろうとしたが、人がいっぱいに広がったり、バッグを背負っていたりして通れずに困っています。しかし、通路にいる人たちが女性に気が付くと、バッグを下ろし邪魔にならないようにと下に置いたり、本棚寄りに身を寄せて通路を空けたところです。

○ 優秀賞

せんてひっしょう
「千手必生」

伊藤 文人 さん (神奈川県平塚市)



(応募者コメント)

もちろん「先手必勝」の音から作りました造語です。がけから落ちそうになっている子供をたくさんの手が助けようとしています。千手の「千」は「多くの」を象徴的に表現したものです。困っている人を多くの人の善意が救う世の中になって欲しいという思いをこめてマンガを描きました。

○ 優秀賞

ききいっぽ
「危機一髪」

中村 怜子 さん (東京都中野区)



(応募者コメント)

スマホに夢中のお母さん、赤ちゃんがダッコバンドから落ちちゃう！

○ 佳作

しょうしんじんご
「傷心人語」

宮本ひかり さん（滋賀県野洲市）

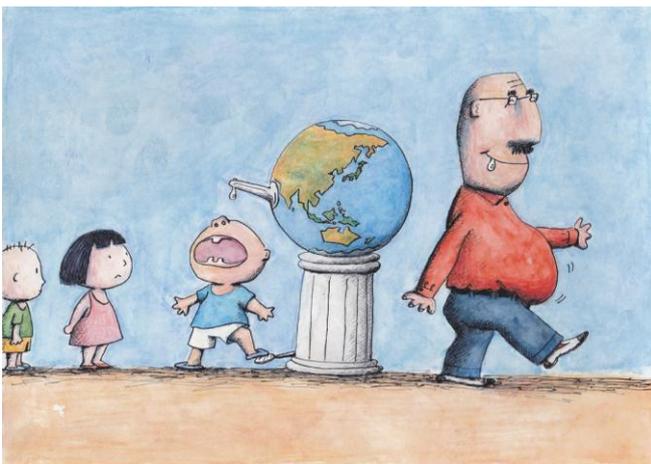


（応募者コメント）
言葉は刃物だから相手の立場を思いやる言葉を遣っていかなくてはならない。

○ 佳作

みらいいさん
「未来遺産」

伊藤 兼秀 さん（長崎市）



（応募者コメント）
地球の資源をどれ位未来の人類に残せるか、負の遺産をどれだけ減らせるかが私たち現代人に問われています。

○ 佳作

あくぎやくむどう
「悪逆無道」

上田 樹 さん（香川県高松市）



（応募者コメント）
ネットでの交流において、中年男性が女子高生に成り済まして男子高生をだます様子を描きました。

○ 佳作

おむかんしん
「無無關心」

岩田 陽介 さん (奈良市)



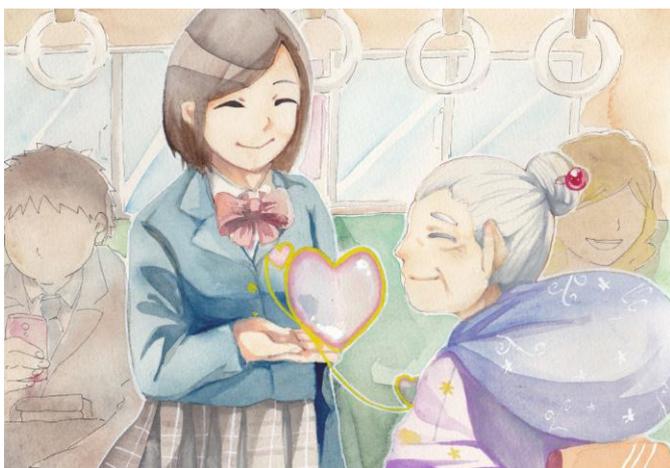
(応募者コメント)

「人権について」は、多くの人が普段の生活の中で余り考えないことだと思います。そのようなことを多くの人に考えてもらう場合、まず、関心を持ってもらうこと、つまり、無関心をなくすことが大事なのではないかと考えました。

○ 佳作

いしんでんしん
「以心伝親」

長澤 綾子 さん (京都市南区)



(応募者コメント)

以心伝心の「心」を「親」にして、何も言わなくともお年寄りに席を譲るという親切さを表しました。

○ 奨励賞

いじんでんしん
「異人伝心」

吉元 恵未 さん (京都市右京区)



(応募者コメント)

「異人」とは昔の言い方で外国人という意味です。以心伝心は話さなくても、心で思いを伝えられるという意味なので、差別とかをせずに分かり合えたらよいと思い描きました。

○ 奨励賞

いしんでんしん
「異心伝心」

堂北 樹里 さん (京都市右京区)



(応募者コメント)

昔話では仲の良くない桃太郎と鬼ですが、面と向かって話をしてみると心が通じ合うこともあるということを表現しました。

○ 奨励賞

ごえつどうしゅう
「呉越同舟」

高橋 直樹 さん (京都市北区)



(応募者コメント)

いつもは仲の悪いもの同士でも、いざというときには助け合えるということ、猫とねずみを使って表しました。

○ 奨励賞

わがんあいご
「和顔愛語」

西田 華奈 さん (京都市北区)



(応募者コメント)

一人ぼっちの子がいても、親しみやすい振る舞いで、寂しい顔をしていた友達がすてきな笑顔になるということを表現しました。